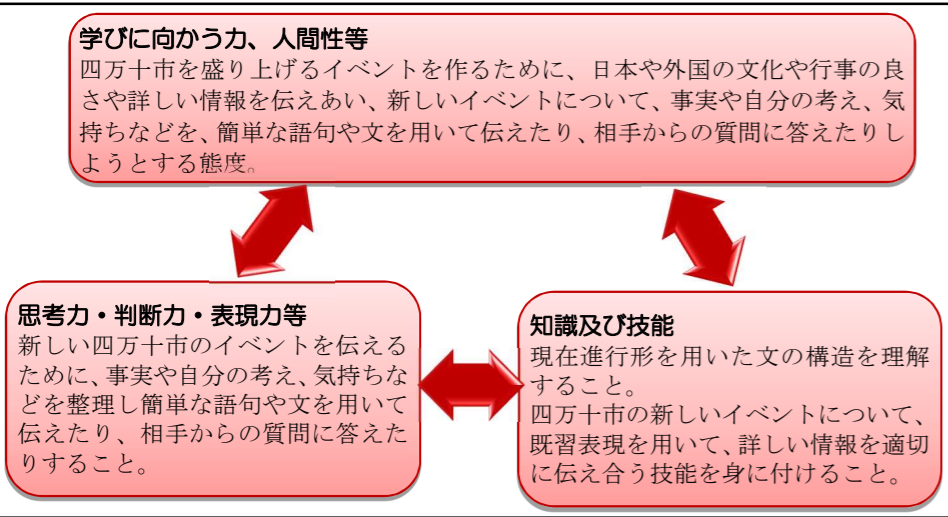


研究主題 「深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」～数学科を軸とした各教科における見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

問題 Let's make a new event in Shimanto City. お互いに（誰に）、四万十市を盛り上げるために（目的）、新しいイベントのアイデアを出し合う（状況）。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)
 (学習指導要領) 話すこと【やり取り】
 ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。
 (CAN-DO リスト) 話すこと【やり取り】
 身近な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、聞き手を意識して、その話題に関して1分程度の会話を続けることができる。
 【第6学年】
 ◆動作を表す語を身につけ、身の回りの人を紹介する。
 ◆日本の文化や行事、自分の町を紹介する。
 【第1学年】
 ◆自己紹介をすることができ、また、関連する質問に答えることができる。
 ・Program2 ウッド先生がやってきた
 ◆おすすめの商品を説明し、相手からの質問に答えることができる。
 ・Program8 Origami

本単元の目標



この単元からつながっている領域の力(◆)と内容(・)
 【第2学年】
 ◆ジョブインタビューの場で1分間の自己PRをし、面接官の質問に答えることができる。
 ・Program6 A Work Experience Program
 ◆ディベートで、説得力のある意見を伝え、相手からの反論に応えることができる。
 ・Program10 So Many Countries, So Many Customs.
 【第3学年】
 ◆「スーパーエージェント」として、おすすめの旅行プランを売り込み、お客さんからの質問に答えることができる。
 ・Program5 Sushi-Go-Around in the World
 ◆社会的な話題について、ディベートをすることができる。
 ・Program9 Education First.

生徒の実態と指導観
 本学級の生徒は、素直で明るく学習に取り組める。「自己表現活動に積極的に取り組む」というアンケートでは、81%の生徒が肯定的回答をしている。11月に行った「自慢の商品を売り込もう」という活動では全生徒がB評定以上であり、準備や心構えがあると一定の発話は行えるが、即興性や相手に質問する力には課題が見られる。本単元のゴールは、言語活動を通して、話すこと「やりとり」の力を身につけることである。現在進行形が自然に使われるであろう、写真や動画を描写する言語活動を通して、まとまり(事実や考え、気持ち)のある英文を構築し、相手に説明し、やりとりをする力を育成する。単元を通して、話すトピックを変えながら、同じような言語活動を繰り返すことで、この単元で有効な表現に慣れさせ、単元終末では、即興的に考えをまとめ、1分程度のやりとりが継続できるようにさせたい。

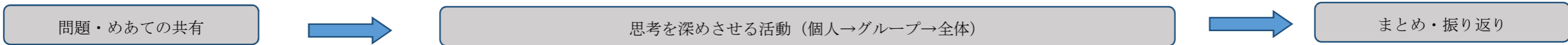
言語活動	話すこと【やりとり】 ピクチャーチャートを使い、教科書の本文を読み、引用するなどして、自分の考えなどを伝え合う。	話すこと【やりとり】 ある写真について、お互いに質問したり、答えたりするなどして自分の考えや気持ちを伝えあう。	話すこと【やりとり】 お祭りや行事などについて、事実や考え、気持ちなどを伝え、相手からの質問に回答するなどしてやりとりを継続する。
<2時間> 【第1時】 ・四万十市に新しいイベントを創るという単元ゴールを知り、単元の見通しを持つ。 ・わかりやすく描写する力をつけるために、Program9の教科書の内容について、ピクチャーチャートを使って、現在進行形も含めて、ペアでやりとりをする。 ・発話したことをノートに記述する。 <発話例> S1: Who is this? S2: He is Jim. S1: What is he doing? S2: He is brushing his teeth. S1: How old is he? S2: Maybe he is 45 years old. 【第2時】 ・より詳しく描写したり、情報を付け加える力をつけるために、既習の教科書の内容について、ピクチャーチャートを使って、現在進行形も含めて、ペアでやりとりをする。 ・発話したことをノートに記述する。 <発話例> S1: Who is this? S2: He is Daisuke. S1: What is he doing? S2: He is showing Noa-chan. S1: Who is Noa-chan? S2: She is an origami doll. The name comes from NOA.	<3時間> 【第3・4時】 ・聞き返したり、質問する力をつけるために、写真や動画で見た場面について、必要な情報や表現を即興で思考し、伝え合う。 ・ALTの国の祭りのプレゼン[Small Talk] ・ペアを変えて複数回行い、いろいろな考えを知る。 <発話例> S1: Look at this picture. You can see a baby. He is reading a newspaper. And he is angry. S2: Why is he angry? S1: I think it's because he can't read the newspaper. (第4時では、リアクションや相づちを増やす。) 【第5時】 ・自分が伝えたいと思うお祭りや行事について、写真やメモを用いて、ペアでやりとりする。 <聞き手に配慮して、即興でまとまりのある英文で状況を伝え合い、質問し合う> ・自分の意見を伝えたり、感想を述べあう力をつけるために、写真や動画で見た場面について、必要な情報や表現を思考するとともに、聞き手に分かりやすい表現方法を工夫する。 ・聞き手は、発表の内容に関して、感想を述べたり、さらに詳しく知りたいことなどを質問する。 (メモの取らせ方) <発話例> S1: Look at this picture. S2: What is this? It's a Tomato festival. S2: What are they doing? S1: They are throwing tomatoes. They are fighting with tomatoes. S2: Why tomatoes? S1: Because ... 1分程度、会話を継続させる	<1時間> 【第6時】【本時】 ・理由や根拠を述べる力をつけるために、四万十市の新しい祭りや行事を考え、伝えあう。 <発話例> S1: I think cheese rolling festival is good. S2: I see. But why? S1: It's because they are using local food. We can do the same thing in Jiyugaoka. S3: Sounds interesting. How about you, S1? S1: I think mud festival is interesting. S3: Mud festival? Why? S1: Because we have a lot of rice fields. We can enjoy it with friends. ...	

評価規準	【知・技】既習表現を活用して、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。 (形成的評価)	【知・技】既習表現を活用して、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。 (形成的評価)	【知・技】既習表現を活用して、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。 【思】話す内容を整理し、分かりやすく伝えあっている。 【主】事実や自分の考えを伝え合おうとしている。 ・本時の評価に加え後日パフォーマンステスト
	見方・考え方を働かせた深い学び	・伝えるものに応じて、主語や動詞を適切に選んでいる姿 ・場面を描写するため既習表現を想起している姿	・写真を描写するのに必要な情報を集め、適切な表現を選び、語順を意識している姿。 ・自分と他者の考えの違いに気づき、質問をして相手の考えを知ろうとする姿。

【本時の目標】 四万十市の新しいイベントについて、既習表現を活用して、伝える内容を整理し、自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えを引き出し、まとまりのある英文で1分程度のやりとりができる。

【本時の外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】 構成や表現に工夫して、相手に分かりやすく表現し、また相手の話の要点をとらえ、感想や意見を述べることで対話を継続、発展させようとする

<p>問題</p> <p>Let's make a new event in Shimanto City.</p>	<p>めあて</p> <p>To make a new event, let's share your idea with your partner.</p>	<p>中間評価で共有した表現など</p>	<p>まとめ</p> <p>話したことをもとにして書く。</p>	<p>◎深い学びを実現する「問題」と「めあて」の工夫</p> <p>問題： Let's make a new event in Shimanto City.</p> <p>めあて： 自分が選んだトピックについて、情報や伝え方に工夫しながら、やり取りしよう。</p> <p>工夫点：四万十市に新しいイベントを作るために、世界の文化や行事をヒントにしながら、他教科で学習したこと等を活用して伝え合う言語活動を設定した。</p>
<p>語順カード</p>	<p>疑問文のヒントカード</p>	<p>Much information</p> <p>Good questions</p>	<p>振り返り</p> <p>伝えるために必要な情報や表現、会話の持続、</p>	<p>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て</p> <p>本時では、四万十市を活性化させるために新しいイベントを考え、伝え合う活動を行う。前時では世界の文化や行事を紹介し、これまで体験したことがないものや、日本では考えられないような文化の違いを知った。それらを自分事としてとらえ、新たな視点を持って自分たちの住んでいる地域に活かせるアイデアを伝え合う。数回ペアを変えながら、同じような言語活動を繰り返すことで、多様な考えに触れるとともに、自分の表現や考えを深めるきっかけにさせたい。</p>



<p>○Small Talk</p> <p>教師や生徒同士でやりとりする中で、前時で学んだことを想起するとともに、教師の意見を述べる。</p> <div data-bbox="103 871 786 1102" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I think tomato festival is good. It's because they are using local food. We have ぶしゆかん in Shimanto. So, we can use it. In the event, we can eat ぶしゆかん a lot. Do you like ぶしゆかん? I like ぶしゆかん very much. Let's throw and eat ぶしゆかん!!</p> </div> <p>○本時のめあての提示</p> <p>T: Today, you have to make a new event in Shimanto City.</p> <p>What event do you want in Shimanto?</p> <p>○新しい四万十市のイベントについてのマッピング</p> <div data-bbox="103 1323 786 1428" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて： To make a new event, let's share your idea with your partner.</p> </div>	<p>○1st Try</p> <p>①ペアでやりとりしながら、新しい四万十市のイベントについて紹介する。(ペアを変えて3回取り組む)</p> <p>②中間評価</p> <p>T: What did you tell to your partner?</p> <p>S: Country! / When! / 祭りの内容!</p> <p>T: A and B, show us your conversation.</p> <div data-bbox="890 1039 1498 1459" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: I will tell you about river walk festival.</p> <p>S2: What is it?</p> <p>S1: In the festival, we walk in the river..</p> <p>We can enjoy it from July 23rd to 29th.</p> <p>S2: I see. Why do you like it?</p> <p>S1: Because we walk for the charity.</p> <p>We send money to NPO.</p> <p>S2: Sounds interesting.</p> <p>How about you ~?</p> </div> <p>T: How was the talking? What are the good points?</p> <p>S: 「いつするのかとか、詳しい情報があった！」 上手に質問ができていた。 英語で言えなかった。どう質問したらいいのか分からなかった・・・</p> <p>・聞かれた質問と応答の共有、Unclear Words の共有、 ・質問された内容や付け足したい情報をメモする。</p>	<p>・話す内容の再構築をする。</p> <p>○2nd Try</p> <p>①ペアや参観者とやりとりする。(2回取り組む)</p> <div data-bbox="1573 871 2226 1585" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: I will tell you about river walk festival.</p> <p>S2: What is it?</p> <p>S1: In the festival, we walk in the river..</p> <p>We can enjoy it from July 23rd to 29th.</p> <p>S2: I see. Why do you like it?</p> <p>S1: Because we walk for the charity.</p> <p>We send money to NPO.</p> <p>S2: Sounds interesting.</p> <p>How long do we walk?</p> <p>S1: 10km.</p> <p>Also, we can eat local food in Shimanto and see beautiful nature.</p> <p>S2: Oh, great.</p> <p>I like your festival.</p> <p>S1: How about you ~?</p> </div>	<p>○生徒の活動の価値づけ (まとめにつながる内容)</p> <p>○Conclusion</p> <p>・話したことやまとめで考えたことをもとにしてノートに書く。</p> <p>○Reflection</p> <p>聞き手に伝えるために必要な情報や表現、会話を継続させるためにはどうすればよいのか、考えたことを書く。会話が継続した要因を考える。</p>
---	---	--	--

<p><指導上の留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモをもとに語順を意識して伝えられるよう促す。 ・明示的指導で表現の幅を増やす。 	<p><指導上の留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の仕方やその後のやりとりに工夫が見られるペアに発表させる。 ・Unclear Words については、既習の表現でできるだけ簡単な英語で言い換えをするよう促す。 ・語順を意識させる。 	<p><指導上の留意点></p>
---	---	------------------------

<p>評価規準</p>	<p>既習表現を活用して、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。【知識及び技能】 話す内容を整理し、分かりやすく伝えあっている。【思考・判断・表現】</p>	<p>事実や自分の考えを伝え合おうとしている。【学びに向かう力、人間性】</p>	
-------------	---	--	--

※ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業においては、学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）に基づいた授業づくりを行っているため、育成すべき資質・能力の 3 本柱による目標及び評価を設定しています。